

# 先端化学生命工学研究センター

advanced Chemistry and Bioengineering

Research Center(aCYBER)

生命や環境に配慮した先端材料と技術の創成

センター長：山田 康枝 教授  
白石 浩平 教授  
北岡 賢 准教授  
小川 智弘 講師

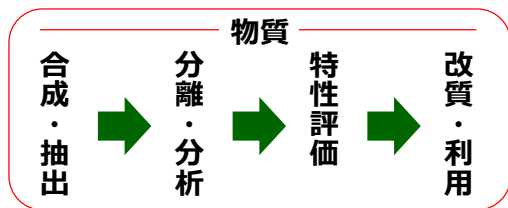
(化学生命工学科)  
(化学生命工学科)  
(化学生命工学科)  
(教育推進センター)

生体材料、医薬品、機能性食品等の物質創成や、細胞分化、神経伝達、組織病態のような生命現象に関わる広範な先端科学技術を駆使して、“生命”、“健康”、“環境”、“材料”の諸分野に役立てることをめざすのが先端化学生命工学研究センターです。

バイオプロセスを利用した保健医療用機能性ハイブリッド素材の調製やバイオマス資源の有効利用に取り組み、また、細胞や動物の示す生体応答を食品、化粧品、医薬品及び環境中の物質の安全性評価や新たな生理活性物質の発見等に応用します。さらに、生物と機械、そして様々なシステムを融合する技術(CYBER)の開発に、“Material”と“Reaction”の視点で挑みます。

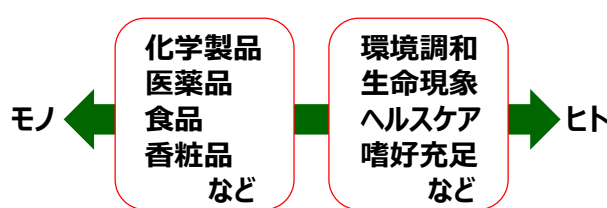
Shake HANDS!

aCYBERは、物質の合成から利用まで、**トータル・イノベーション**を目標に取り組みます。



Shake HANDS!

aCYBERは、モノとヒトをつなぐ様々な**技術**の開発と活用に取り組みます。

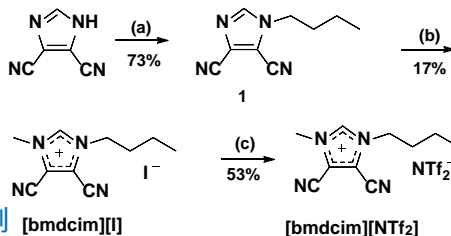


aCYBERは、例えば次のような研究に取り組んでいます。

Shake HANDS!

## 1. 物質の合成・抽出 事例>> 電池など多様なニーズに応じたイオン液体を分子設計し合成します

リチウムイオン電池の電解質として、難揮発性で難燃性の安全なイオン液体の利用が期待されています。粘性の低いイオン液体を合成し、リチウムイオンの拡散性を改善することを目的に取り組んでいます。



関連機器：  
超音波ホモジナイザー、  
亜臨界水製造装置、  
高圧処理装置  
など

低粘性イオン液体の合成例

## 2. 物質の分離・分析 事例>> 日本酒やお茶など食品に含まれる機能性成分を同定します

純米酒やほうじ茶、緑茶の成分分析を細かく行います。その中から食品独特の成分について機能性を見つけていきます。

関連機器：  
NMR, LC/MS, GC/MS,  
FT-IR, SEC, TLC,  
CDスペクトル分析計 など

## 3. 物質の評価

### i) 生物的评价 事例 1>> 神経系受容体やヒトの培養細胞、マウスを用いて機能性を検討します

脳（大脳皮質、海馬など）に存在する受容体（膜タンパク質）への影響を検証し、記憶形成、学習、運動、認知症や神経疾患などの疾病に対する効果について検討しています。

関連機器：  
微細電流測定装置  
細胞培養装置、  
マイクロプレートリーダー、  
動物行動実験装置

Shake HANDS!

## 事例2&gt;&gt;

## プロポリスなどの有用資源が生活習慣病を予防するメカニズムを解明します

アルコールを摂取していないにもかかわらず、肝臓の生活習慣病として知られる脂肪肝から進展した肝炎の発生が増加し懸念されています。モデルマウスを用いた動物試験により、ミツバチが生産するプロポリスの肝臓炎症への抑制効果について検討しています。



モデルマウス試験

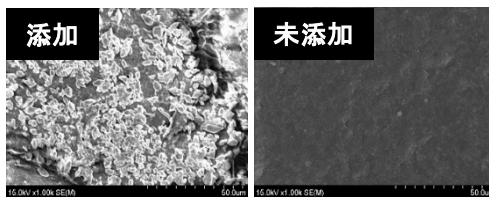
関連機器：  
マイクローム、  
蛍光顕微鏡、  
画像解析装置、  
マイクロプレートリーダー、  
リアルタイムPCR  
など

## ii) 物理的評価

## 事例&gt;&gt;

## マイクロ微粒子を分散させてゴム手袋のグリップ力を安定化させます

ゴム手袋のグリップ力（摩擦力）は、掴む対象物の表面に油や水が付着していると大きく低下することが大きな課題となっています。ゴム手袋表面にポリマーを分散させてマイクロレベルの凹凸形状を付与し、対象物との接地面積を増やすことでグリップ力を維持・向上させる取り組みを行っています。



粒子添加 ⇒ ゴム表面の凹凸劇的変化

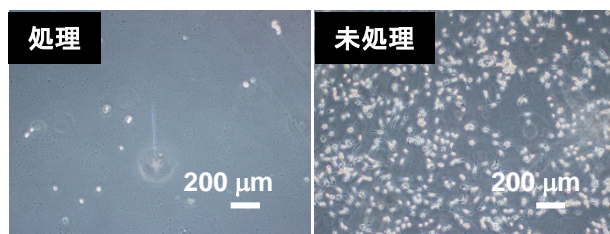
関連機器：  
SPM, DSC,  
接触角計、  
回転式粘度計、  
粒度分布測定装置、  
テクスチャーアナライザー、  
動的粘弾性測定装置、  
膜乳化装置 など

## 4. 物質の改質・利用

## 事例1&gt;&gt;

## 医療器具の表面コーティングにより生体適合性を改善します

生体に接触する医療器具には、生体防御機能に認識されない性質としての生体適合性が求められます。アミノ酸やリン脂質などの生体を構成する分子の多くは、正負の電荷をともに有する両性イオン構造をとります。そこで、同じく両性イオン構造を持つモノマーを利用して、親水性を維持しつつも、医療器具基盤への接着が可能なポリマーの作製を目指しています。

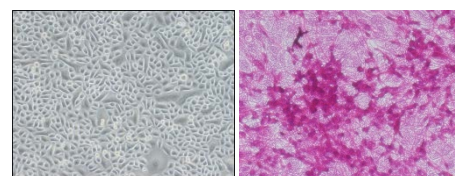


リン脂質系ポリマー処理 ⇒ HeLa細胞接着の高度抑制

## 事例2&gt;&gt;

## 皮膚細胞や神経芽細胞への細胞保護効果を有する物質を見出します

皮膚の老化と酸化傷害においては、紫外線に長期間さらされることにより発生する慢性紫外線傷害の寄与が大きいと考えられています。様々な物質を対象として、紫外線を照射されたヒト正常表皮角化細胞による細胞実験における細胞保護効果を検討し、お肌に優しい新規な化粧品の開発を目指しています。ヒト正常表皮角化細胞に傷をつけて、その治癒効果を促進する物質を見つけ、創傷治癒薬への応用も目指しています。

ヒト正常表皮  
角化細胞

ヒト神経系細胞

Shake HANDs!

aCYBERは、研究活動を通して関わる皆様と  
Shake HANDsします。



Shake HANDs!

Shake HANDs!

例えばこのように...